

主題「ケータイのルールを考えてみよう」

副題～ケータイ安全教室での学習を通して～

さいたま市立七里小学校

1 ねらい

- ・児童がトラブルに巻き込まれ、被害者とならないようにするために、また、反対に加害者とならないようにするために、犯罪の手口・対処方法などを知らせ、携帯電話を使った犯罪、トラブルへの注意を喚起する。
- ・携帯電話を使用する際のルール・マナーを理解させ、それを守っていこうとする意識・態度を養う。

2 指導計画

- (1) 携帯電話・メールについての事前指導
- (2) 「ケータイ安全教室」への参加
- (3) 感想発表・交流



3 授業実践例

- (1) 携帯電話のできることを知る。
 - ・電話だけでなく、メールやインターネット、ゲームなど様々な機能がある。
- (2) 携帯電話を使用する時のルールやマナーを考える。
 - ・公共の場でのマナーや時間のマナー
 - ・無自覚な使用に対しての高額請求
 - ・違法ダウンロード
- (3) 携帯電話を使用する際のトラブルについて知る。
 - ・迷惑メールの対処法
 - ・出会い系サイト
 - ・個人情報の漏洩
 - ・掲示板の書き込み
- (4) 携帯電話を安全に使うためにはどうすればよいか考える。
 - ・家族でルールを決める
 - ・相手の気持ちを考えた対応
 - ・フィルタリングサービスの利用（保護者）
- (5) 携帯安全教室に参加して、考えたことを発表する。

4 成果と今後の課題

- 携帯電話会社の方に話をしていただくことで、実際に起きている問題などを知ることができた。また、映像資料を活用し、携帯電話のメールやインターネットの正しい使い方やルール、マナーをわかりやすく学ぶことができた。
- 携帯電話を持つことが多くなる5・6年生という高学年を対象に実施することで、携帯電話によるトラブルを未然に防ぐことができると考えられる。
- 5・6年生児童を対象に実施したが、携帯のフィルタリングや、最近の携帯事情など、保護者と共通理解を図った方がよい情報があるため、保護者も対象にして行えるとなおよいと考える。